

介護老人保健施設志木瑞穂の里 通所リハビリテーション 重要事項説明書

(約款の目的)

第1条 介護老人保健施設志木瑞穂の里（以下「当施設」という。）は要支援又は要介護状態と認定された利用者（以下「利用者」という。）に対し、介護保険法令の趣旨に従って利用者が可能な限り自宅でその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように通所リハビリテーションを提供し、一方利用者又は利用者を扶養する者（以下「扶養者」という。）は、当施設に対しそのサービスに対する料金を支払うことについて取り決めることをこの約款の目的とします。

(適用期間)

第2条 本約款は、利用者が通所リハビリテーション利用同意書を当施設に提出した時から効力を有します。但し、扶養者に変更があった場合は新たに同意を得ることとします。

2 利用者は前項に定める事項の他、本約款別紙1及び別紙2の改定が行なわれない限り初回利用時の同意書提出をもって、繰り返し当施設の通所リハビリテーションを利用することができるものとします。

(利用者からの解除)

第3条 利用者及び扶養者は、当施設に対し利用中止の意思表示をすることにより、利用者の居宅サービス計画にかかわらず本約款に基づく通所リハビリテーション利用を解除・終了することができます。なお、この場合利用者及び扶養者は速やかに当施設及び利用者の居宅サービス計画作成者に連絡するものとします。

但し、利用者が正当な理由なく通所リハビリテーション実施時間中に利用中止を申し出た場合については、原則基本料金及びその他ご利用いただいた費用を当施設にお支払いいただきます。

(当施設からの解除)

第4条 当施設は利用者及び扶養者に対し、次に掲げる場合に本約款に基づく通所リハビリテーションサービスの利用を解除・終了することができます。

- ① 利用者が要介護認定において自立と認定された場合
- ② 利用者の居宅サービス計画で定められた利用時間数を超える場合
- ③ 利用者及び扶養者が本約款に定める利用料金を2か月分以上滞納し、その支払いを督促したにもかかわらず支払われない場合
- ④ 利用者の病状・心身状態等が著しく悪化し、当施設での適切な通所リハビリテーションサービスの提供を超えると判断された場合
- ⑤ 利用者又は扶養者が当施設・当施設の職員又は他の利用者等に対して、利用継続が困難となる程度の背信行為又は反社会的行為を行った場合
- ⑥ 天災、災害、施設・設備の故障その他やむを得ない理由により利用させることができない場合

(非常災害対策)

第5条 非常災害に関する具体的な計画を立て、以下について必要な措置を講じます。

- ① 防災教育および基本訓練（総合訓練） 年2回以上
- ② 非常災害設備の点検、使用方法の徹底
防災設備 スプリンクラー、消火器、消火栓、非常警報設備、防火シャッター等

(業務継続計画の策定等)

第6条 感染症や非常災害時において、早期の業務再開を図るため、以下について必要な措置を講じます。

- ① 業務継続計画の策定と職員への周知
- ② 定期的な研修及び訓練の実施（年各2回）
- ③ 定期的な業務継続計画の見直しと必要に応じた変更

(感染症対策)

第7条 施設の設備や使用水の衛生管理に努めるとともに、必要に応じて保健所等へ相談指導を求め連携に努めます。また、発生が予想される感染症に対し、以下の必要な措置を講じます。

- ① 感染症対策に関する指針の整備
- ② 感染症又は食中毒の予防及びまん延防止のための対策を検討する委員会の開催
- ③ 職員に対しての定期的な勉強会の実施

(利用料金)

第8条 利用者及び扶養者は連帯して当施設に対し本約款に基づく通所リハビリテーションサービスの対価として、別紙料金表の利用単位ごとの料金をもとに計算された月ごとの合計額及び利用者が個別に利用したサービスの提供に伴い必要となる額の合計額を支払う義務があります。但し、当施設は利用者の経済状態等に変動があった場合上記利用料金を変更することがあります。

- 2 お支払方法は口座振替となります。
振り替え日は毎月27日となりますので、口座へのご準備をお願いいたします。
- 3 当施設は利用者又は扶養者から1項に定める利用料金の支払いを受けたときは、利用者及び扶養者に領収書をお渡しいたします。

(記録)

第9条 当施設は、利用者の通所リハビリテーションサービスの提供に関する記録を作成しその記録を利用終了後5年間は保管します。

- 2 当施設は、利用者が前項の記録の閲覧・謄写を求めた場合には、原則としてこれに応じます。但し、扶養者その他の者（利用者の代理人を含みます。）に対しては利用者の承諾その他必要と認められる場合に限りこれに応じます。

(身体の拘束等)

第10条 当施設は、「志木瑞穂の里身体拘束禁止規定」に基づき、原則として利用者に対し身体拘束を行いません。但し、自傷他害の恐れがある等緊急やむを得ない場合は施設長が判断し身体拘束その他利用者の行動を制限する行為を行うことがあります。この場合には、当施設の医師がその様態及び時間・心身の状況・緊急やむを得なかった理由を診療録に記載することとします。

(秘密の保持)

第11条 当施設とその職員は、業務上知り得た利用者又は扶養者若しくはその家族等に関する秘密を正当な理由なく第三者に漏らしません。但し、次の各号についての情報提供について、当施設は利用者及び扶養者から予め同意を得た上で行うこととします。(別添資料1)

- ① 介護保険サービスの利用のための市町村・居宅介護支援事業者その他の介護保険事業者等への情報提供、あるいは適切な在宅療養のための医療機関等への療養情報の提供
- ② 介護保険サービスの質の向上のために学会・研究会等での事例研究発表等。なお、この場合でも利用者個人を特定できないように仮名等を使用することを厳守します。
- ③ 利用者が偽りその他不正な行為によって保険給付を受けている場合等の市町村への通知
- ④ 利用者に病状の急変が生じた場合等の主治の医師への連絡等
- ⑤ 生命・身体の保護のため必要な場合(災害時において安否確認情報を行政に提供する場合等)

2 前項に掲げる事項は利用終了後も同様の取扱いとなります。

(緊急時の対応)

第12条 当施設は利用者に対し施設医師の医学的判断により受診が必要と認める場合、協力医療機関又は協力歯科医療機関での診療を依頼することがあります。

2 前項のほか通所リハビリテーション利用中に利用者の心身の状態が急変した場合、当施設は利用者及び扶養者が指定する者に対し緊急に連絡します。

(高齢者虐待防止)

第13条 利用者の人権擁護・虐待の発生を防止するため委員会を設置し、以下について必要な措置を講じます。

- ① 虐待防止のための指針の整備
- ② 虐待防止のための委員会の定期的な開催とその結果について職員への周知
- ③ 職員に対してのハラスメント・ストレス対策を含む虐待防止のための定期的な研修

サービス提供中に当施設職員又は擁護者(現に擁護している家族、親族、同居人等)による虐待を受けたと思われる利用者を発見した場合は、速やかに市町村に通報します。

(事故発生時の対応)

第 14 条 サービス提供等により事故が発生した場合、当施設は利用者に対し必要な措置を講じます。

- 2 施設医師の医学的判断により専門的な医学的対応が必要と判断した場合、協力医療機関・協力歯科医療機関又は他の専門的機関での診療を依頼します。
- 3 前 2 項のほか、当施設は利用者の家族等利用者又は扶養者が指定する者及び保険者の指定する行政機関に対して速やかに連絡します。

(要望又は苦情等の申出)

第 15 条 利用者及び扶養者は、当施設の提供する通所リハビリテーションサービスに対し

し
ての要望又は苦情等について担当支援相談員に申し出ることができます。また、備え付けの用紙を使い、管理者宛の「ご意見箱」に投函して申し出ることができます。

【第 3 者苦情相談窓口】

志木市役所 長寿応援課	0 4 8 - 4 7 3 - 1 1 1 1
新座市役所介護保険課	0 4 8 - 4 7 7 - 1 1 1 1
朝霞市役所長寿はつらつ課	0 4 8 - 4 6 3 - 1 1 1 1
埼玉県国民健康保険団体連合会	0 4 8 - 8 2 4 - 2 5 6 8

(賠償責任)

第 16 条 通所リハビリテーションの提供に伴い当施設の責に帰すべき事由によって利用者が損害を被った場合、当施設は利用者に対して損害を賠償するものとします。

- 2 利用者の責に帰すべき事由によって当施設が損害を被った場合、利用者及び扶養者は連帯して当施設に対しその損害を賠償するものとします。

(利用契約に定めのない事項)

第 17 条 この約款に定められていない事項は介護保険法令その他諸法令に定めるところにより、利用者又は扶養者と当施設が誠意をもって協議して定めることとします。

<別紙1>

介護老人保健施設 志木瑞穂の里のご案内
(2024年4月1日現在)

1. 施設の概要

(1) 施設の名称等

・施設名	介護老人保健施設 志木瑞穂の里
・開設年月日	2012年8月28日
・所在地	埼玉県志木市上宗岡2丁目20-17
・電話番号	048-474-0324
・ファックス番号	048-476-1133
・管理者名	施設長 依田 一郎
・介護保険指定番号	介護老人保健施設 (1152280010号)

(2) 介護老人保健施設の目的と運営方針

介護老人保健施設は看護・医学的管理の下での介護や機能訓練、その他必要な医療と日常生活上のお世話などの介護保健施設サービスを提供することで、入所者の能力に応じた日常生活を営むことができるようにし、1日でも早く家庭での生活に戻ることができるように支援すること、また、ご利用の方が居宅での生活を1日でも長く継続できるよう、短期入所療養介護や通所リハビリテーションといったサービスを提供し、在宅生活を支援することを目的とした施設です。

この目的に沿って、当施設では以下の運営方針を定めていますのでご理解いただきご利用ください。

[介護老人保健施設 志木瑞穂の里の運営方針]

1. 総合的ケアサービスを行う

ご利用者の心身状態・あるいは介護者やご家族の環境に合わせて、医療的サービス・福祉的サービスを総合的かつ一体的に提供させていただきます。

2. リハビリテーション施設

体力や基本動作能力の獲得・活動や参加の促進・家庭環境の調整など生活機能向上を目的に集中的なりハビリテーションを行います。

3. 家庭復帰を目指す

リハビリテーション・看護・介護などのケアを必要とするご利用者に医療的ケア・日常生活サービスを提供し、心身の自立を支援しご家庭への復帰を実現させていただきます。

4. 在宅生活を支援する

1日でも長く在宅で自立した生活が送れるよう通所サービス・短期入所機能などの充実を図り、地域の多くの社会施設サービスの活用・在宅生活の支援を図ります

5. 地域に開かれた施設

志木瑞穂の里自らが地域の高齢者ケア施設として住民の方々のニーズに答え、教育や啓発活動・ボランティアの方々の受け入れなどを通じて地域の高齢者ケアの向上を図ります。

(3) 施設の職員体制 (1F)

	定数	業務内容
・医師	1. 2人	診療・指導等を行う *入所と兼務
・看護職員	1. 0人	看護業務等を行う
・介護職員	15. 0人	日常生活上の介護業務等を行う
・理学療法士	10人	理学療法業務等を行う *入所と兼務
・作業療法士		作業療法業務等を行う *入所と兼務
・言語聴覚士		言語療法業務等を行う *入所と兼務
・事務職員	4人	事務処理等を行う *入所と兼務
・その他		

(4) 通所定員 80名

2. サービス内容

(1) 通所リハビリテーション計画の立案

(2) 食事 昼食 12時00分～12時45分

(3) 入浴

家庭浴槽のほか介助を要する利用者には特別浴槽で対応します。ご利用者の心身

の状態に応じて清拭となる場合があります。

(4) 医学的管理・医学的管理下における看護

(5) 医学的管理下における介護

(6) 機能訓練 (リハビリテーション、レクリエーション)

(7) 相談援助サービス

(8) ご利用者が選定する特別な食事の提供

(9) 基本時間外施設利用サービス (何らかの理由により、ご家族等のお迎えが居宅介護サービス計画で定められた通所リハビリテーション利用時間の終了に間に合わない場合に適用)

(10) 行政手続代行

(11) その他

*これらのサービスのなかには、ご利用者の方から基本料金とは別に利用料金をいただくものもありますので、具体的にご相談ください。

3. 協力医療機関等

当施設では、下記の医療機関や歯科診療所に協力をいただき、ご利用者の状態が急変した場合等には、速やかに対応をお願いするようにしています。

協力医療機関①

名称 TMG宗岡中央病院
住所 埼玉県志木市上宗岡5-14-50

協力医療機関②

名称 TMGあさか医療センター
住所 埼玉県朝霞市大字溝沼1340-1

協力医療機関③

名称 新座志木中央総合病院

住 所	埼玉県新座市東北1丁目7-2
協力歯科医療機関①	
名 称	川越歯科クリニック
住 所	埼玉県川越市小ヶ谷7-2-1

5. 緊急時の連絡先

なお、緊急の場合には、「同意書」にご記入いただいた連絡先に連絡します。

6. 施設利用に当たっての留意事項

- (1) 施設利用中の食事は特段の事情がない限り施設の提供する食事をお召し上がりいただきます。食費は保険給付外の利用料と位置づけられていますが、ご利用者の栄養状態の管理には食事管理が欠かせませんので食事の持ち込みはご遠慮いただきます。
- (2) お持ちいただく全ての物に油性ペンでお名前を記入してください。
- (3) 貴重品の持ち込みはご遠慮ください。紛失事故のあった場合責任を負いかねます。
- (4) 施設内は全面禁煙とさせていただきます。
- (5) 飲酒は禁止といたします。

7. 禁止事項

当施設では多くの方に安心して療養生活を送っていただくために、ご利用者の「営利行為・宗教の勧誘・特定の政治活動」は禁止させていただきます。

8. 要望及び苦情等の相談

当施設には支援相談の専門職として「支援相談員」が勤務していますので、お気軽にご相談ください。(電話048-474-0324)

要望や苦情などは担当支援相談員にお寄せいただければ速やかに対応いたしますが、施設内に備えつけられた管理者宛の「ご意見箱」をご利用いただき管理者に直接お申し出いただくこともできます。

9. その他

当施設についての詳細はパンフレットを用意してありますのでご請求ください。

<別紙2>

通所リハビリテーションについて

1. 介護保険証の確認

ご利用のお申し込みにあたりご利用希望者の介護保険証を確認させていただきます。

2. 通所リハビリテーションについての概要

立案された居宅サービス計画に基づき通所リハビリテーションサービスは提供されます。理学療法・作業療法等必要なリハビリテーションを提供しご利用者の心身の機能の維持回復を図ります。

サービスを提供するにあたっては、医師及び理学療法士・作業療法士その他専らサービスの提供にあたる従事者の協議により通所リハビリテーション計画が作成されますが、その際ご利用者・扶養者（ご家族）の希望を十分に取り入れ計画の内容については同意をいただきます。

3. 利用料金

(1) 基本料金及びその他料金

料金の詳しい内容は、通所サービスご利用料金表をご覧ください。

(2) 支払い方法

お支払方法は口座振替となります。

振り替え日は毎月27日となりますので、口座へのご準備をお願いいたします。

お支払い頂きますと、領収証を発行致します。

通所リハビリテーションご利用料金表

令和6年6月 改定

大規模型(特例)通所リハビリサービス内容			対象者	単位数	算定単位	利用料(10割)
基本単位	1-2時間	介護1 通所リハⅢ211	該当者のみ	369	単位/回	¥3,934
		介護2 通所リハⅢ212		398		¥4,243
		介護3 通所リハⅢ213		429		¥4,573
		介護4 通所リハⅢ214		458		¥4,882
		介護5 通所リハⅢ215		491		¥5,234
基本単位	2-3時間	介護1 通所リハⅢ221	該当者のみ	383	単位/回	¥4,083
		介護2 通所リハⅢ222		439		¥4,680
		介護3 通所リハⅢ223		498		¥5,309
		介護4 通所リハⅢ224		555		¥5,916
		介護5 通所リハⅢ225		612		¥6,524
基本単位	3-4時間	介護1 通所リハⅢ231	半日コース (当てはまる介護 度のもの)	486	単位/回	¥5,181
		介護2 通所リハⅢ232		565		¥6,023
		介護3 通所リハⅢ233		643		¥6,854
		介護4 通所リハⅢ234		743		¥7,920
		介護5 通所リハⅢ235		842		¥8,976
基本単位	4-5時間	介護1 通所リハⅢ241	該当者のみ	553	単位/回	¥5,895
		介護2 通所リハⅢ242		642		¥6,844
		介護3 通所リハⅢ243		730		¥7,782
		介護4 通所リハⅢ244		844		¥8,997
		介護5 通所リハⅢ245		957		¥10,202
基本単位	5-6時間	介護1 通所リハⅢ251	該当者のみ	622	単位/回	¥6,631
		介護2 通所リハⅢ252		738		¥7,867
		介護3 通所リハⅢ253		852		¥9,082
		介護4 通所リハⅢ254		987		¥10,521
		介護5 通所リハⅢ255		1,120		¥11,939
基本単位	6-7時間	介護1 通所リハⅢ261	1日コース (当てはまる介護 度のもの)	715	単位/回	¥7,622
		介護2 通所リハⅢ262		850		¥9,061
		介護3 通所リハⅢ263		981		¥10,457
		介護4 通所リハⅢ264		1,137		¥12,120
		介護5 通所リハⅢ265		1,290		¥13,751
理学療法士等体制強化加算			1-2時間の方のみ	30	単位/日	¥320
リハ提供体制加算	3-4時間	リハ体制加算1	半日コース	12	単位/回	¥128
リハ提供体制加算	4-5時間	リハ体制加算2	該当者のみ	16		¥171
リハ提供体制加算	5-6時間	リハ体制加算3		20		¥213
リハ提供体制加算	6-7時間	リハ体制加算4	1日コース	24		¥256
科学的介護推進体制加算			全員	40	単位/月	¥426
リハビリテーションマネジメント加算21/月 開始日から6月以内(口)	6月以内		該当者のみ	593	単位/月	¥6,321
リハビリテーションマネジメント加算22/月 開始日から6月超(口)	6月超			273		¥2,910
※リハマネ加算を算定した利用者に対して 医師が利用者又は家族に説明した場合/月				270		¥2,878
入浴介助加算(Ⅰ)			該当者のみ	40	単位/回	¥426
入浴介助加算(Ⅱ)				60		¥640
短期集中個別リハ加算				110		¥1,173
口腔機能向上加算(Ⅱ2)				160		¥1,706
重度療養管理加算				100		¥1,066
送迎減算(片道につき)				-47		¥-496
生活行為向上リハ実施加算(利用開始月から6月以内)				1,250		単位/月
サービス提供体制強化加算(Ⅰ)			22	単位/回	¥235	
介護等処遇改善加算Ⅰ			全員	所定単位数の86/1000加算		

*上記単位数に地域区分割合(4等地)10.66を掛けた数が利用料(10割)
前記の数に負担割合を掛けたものが利用者負担額となります。

自費請求分	料金	内訳
食費(昼食分)	670円/日	食材料費分として
おやつ代(利用者の希望による)	103円/日	ジュース、コーヒー、和菓子、洋菓子 等
日用品費	150円/日	タオル、おしぼり、バスタオル 等
教養娯楽費	150円/日	新聞、週刊誌、月刊誌、趣味材料費、年間行事等
紙パンツ代	実費	施設のものを利用する場合 M~L:75円 バット:20円
持込紙パンツ代(処理費)	35円/枚	処理にかかる費用

予防通所リハビリテーションご利用料金表

令和6年6月 改定

サービス内容		対象者	単位数	算定単位	利用料(10割)	
基本単位	支援1	予防通所リハビリ21	2,268	単位/月	¥24,177	
	支援2	予防通所リハビリ22	4,228		¥45,070	
	支援1	サービス提供体制強化加算 I	88		¥938	
	支援2		176		¥1,876	
科学的介護推進体制加算		全員	40		¥426	
口腔機能向上加算 II		該当者のみ	160		¥1,706	
予防生活行為向上リハ実施加算(利用開始月から6月以内)			562		¥5,991	
長期利用減算(利用開始月より12月超)		該当者のみ	要支援1		-120	¥-1,279
			要支援2		-240	¥-2,558
介護職員等処遇改善加算 I		全員	所定単位数の86/1,000加算			

*上記単位数に地域区分割合(4等地)10.66を掛けた数が利用料(10割)
前記の数に負担割合を掛けたものが利用者負担額となります。

自費請求分	料金	内訳
食費(昼食分)	670円/日	食材料費分として
おやつ代(利用者の希望による)	103円/日	ジュース、コーヒー、和菓子、洋菓子 等
日用品費	150円/日	タオル、おしぼり、バスタオル 等
教養娯楽費	150円/日	新聞、週刊誌、月刊誌、趣味材料費、年間行事等
紙パンツ代	実費	施設のものを利用する場合 M~L:75円 パット:20円
持込紙パンツ代(処理費)	35円/枚	処理にかかる費用